浜松市立佐久間中学校
令和８年度 第３回 学校運営協議会

＜次　第＞　　※全体進行：教頭

１　日程説明

２　授業参観

３　会長挨拶

４　校長挨拶

５　議長の選出

６　前回会議録の確認　　p 1~3

７　熟議

（１）本年度の活動を振り返って

・二俣地域での職場体験	（２年）：初の佐久間外での実施	p 4～6
・佐久間地域での社会体験	（１年）：非営利組織の役割理解	p 7
・個別探究活動・終日ＳＴ	（３学年）	p 8～9
・学校支援ＣＤ活動報告		p10

（２）教職員の業務量管理について　　p11～12

８　報告

休日部活動の地域展開について　　p13

全国学力状況調査結果について

９　浜松市教育委員会 学校・地域連携課から

１０　連絡

学校運営協議会自己評価と学校評価について

日　時　令和８年１０月２２日（木）１４：３０～１６：００

会　場　佐久間中学校会議室（２階）

◎ 学校運営協議会委員･オブザーバー･ディレクター一覧

○委員

会長	守下　武志	委員(学校支援CD)	奥山　和子
委員(学校支援CD)	向坂　美保	委員	片倉　美咲
委員	月花　明生	委員	澤村　晃央
委員	村田しのぶ		

○オブザーバー

大見　　芳	NPO法人がんばらまいか佐久間	長谷川陽子	佐久間図書館
鈴木　　孝	佐久間支所	山本　巌	元公立中学校校長
髙氏　秀佳	前・学校運営協議会会長	笹野　訓子	中学校区健全育成会会長

○ディレクター

新間千代子	校務ｱｼｽﾀﾝﾄと兼務

◎ 年間の学校運営協議会の日程

回	実施日	時間	主な内容
第１回	４月９日(木)	14:30~16:00	・学校運営の基本方針や本年度の協議会の目標の確認
第２回	６月９日(火)	14:20~16:00 (含交流活動)	・総合的な学習における各生徒の探究活動への助言を通して教育活動の実際を知っていただき、熟議に活かす
第３回	10月22日(木)	14:30~16:00 (含授業参観)	・授業参観の様子をふまえ、基本方針に照らしての教育活動の評価
第４回	２月12日(金)	14:30~16:00	・学校関係者評価に基づく協議と来年度の学校運営の基本方針の承認等

◎ 生徒数および学年職員一覧

年組	男	女	計	実家庭
1-A	1	3	4	3
2-A	2	4	6	6
3-A	4	3	7	7
合計	7	１０	１７	１６

１年	主　任	内山美代子	生徒指導主事
	Ａ組担任	和田奈津穂	道徳教育推進
	１年付き	町田　真大	情報教育推進
２年	主　任	恩田　晴久	研修主任
	Ａ組担任	藤田　至真	総合的な学習
３年	主　任	内山　博文	進路指導主事
	Ａ組担任	内山　亜結	生徒会、特活主任

◎ Memo

令和8年度 第2回 佐久間中学校運営協議会 会議録（要点記録）

１　開 催 日 時　令和8年6月9日（火）　　14時20分から16時50分まで
２　開 催 場 所　佐久間中学校 会議室
３　出 席 委 員　守下　武志、奥山　和子、月花　明生、村田　しのぶ、澤村　晃央、
　　片倉　美咲
４　欠 席 委 員　向坂　美保
５　オブザーバー　髙氏　秀佳（前運営協議会委員長）、笹野　訓子（前運営協議会委員）、
　　鈴木　孝（佐久間支所地域振興グループ長）、
６　学　　校　廣岡　誠司（校長）、鈴木　政晴（教頭）、森下　奏恵（教務主任）
７　傍　聴　者　0人
８　会議録作成者　CSディレクター 新間千代子
９　議 長 の 選 出
　司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、各委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。
１０　会議記録
　委員総数7名のうち5名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。
　（途中参加があり、開始時は5名、終了時は6名）
１１　前回会議の確認（教頭）
　別途資料に基づき、教頭より説明があった。
１２　熟　　議
　（1）生徒の学習活動への取り組みについて
　○「自律的な学び」に向けた探究活動の今後の方向性（教頭）
　○ 2月実施の市内一斉実態調査結果を受けて（教頭）
　別途資料に基づき教頭より説明があった。
・　今回は事前に生徒一人一人のテーマや内容を知らせてもらえたので、準備や心づもりができた。それぞれのグループにどういった情報を提供したらよいのか調べる時間ができ参加しやすかった。前回の反省が生かされていると思う。（奥山委員）
・　自分の中学生時代を振り返って考えると、学校が家庭学習のやり方について指導されるということはなかった。どういうことをすればよいかを自分で決めるのは難しいが、生徒の探究心を支えるためにも学校側で教えることはよい。（澤村委員）
・　「給食の時間が楽しい」と思えない子が多いことについては、移動が大変かもしれないが1年生から3年生まで学年を交えて昼食をとったら楽しいのではないか。（澤村委員）

・　宿題を主体的に勉強することと総合的な学びは関係している。（守下委員長）
・　宿題を主体的にやらせるということは、理想と現実があってなかなか難しい。苦手な部分を認識し「よしやるぞ」と頑張るのが一番伸びるのだが、現実は苦手なところを自らやろうとする子供はそれほど多くはない。子供の励みになるような先生側の工夫が何かあるとよい。（守下委員長）
・　今日の探究活動でいえば子供たちは自分でテーマを決めてよく頑張っている。（守下委員長）
・　質問ですが、今の「家庭学習」というのは「宿題」ですか、それとも「自主勉強」のどちらなのでしょうか。（月花委員）
　→ 現在は「宿題」と呼ばず「家庭学習」と呼んでいる。教師が与えるものでなく、自分に必要な「自主勉強」という意味合いの方が近い。（教頭）
　→ 「家庭学習」というと自ら進んでやっているように感じる。私の家庭では親から「やれよ」とは言っていない。何かわからないことがあれば子供が聞いてくることに答えるようにしているが、他の保護者の方にも状況を聞きたい。（月花委員）
　→ ドリルなど買ったりしているが、親も子も何を買ってよいのかわからない。自分に合ったものが見つけだせなくて易しいものを選んでしまう傾向にある。ドリルの選び方等を先生に聞いてみたい。（村田委員）
・　子供たちに力をつけたいので学校だけでなく、家庭学習もやらせたい。学力は大切だという思いがある中で、平日の読書時間が0の生徒が多いのが気にかかる。もう少し何とかなるとよいと思う。（髙氏オブザーバー）
　→ タブレットの導入など学校でやらなければならないことが多く、中学校では読書の時間を削らざるをえない学校が多い。（教頭）
　→ 読書をすることと主体的に学ぶということはつながっている。（守下会長）
・　人口減少や高齢化といったマイナスイメージばかり考えてしまうが、中学生の「佐久間の良いところを知ってもらいたい」「知りたい」という前向きな姿勢がうれしく感じると同時に、佐久間の行政に携わる者として反省もした。（鈴木オブザーバー）
・　3年間かけてテーマを絞って自分が探究したいところを「形」にできるとよいと思う。（笹野オブザーバー）
・　この地域の子供たちは必ずしも自我を出すタイプの子供たちではないように思う。子供たちが自主的にすることは大変なこと。自分の課題をとらえることを大人が励まし、認めてあげることが大切。学校運営協議会はじめ地域も協力したい。（笹野オブザーバー）
・　読書量を増やすために、探究活動で興味を持っている分野の本を選び、読書感想文につなげていくような方法もあるのではないか。（笹野オブザーバー）

・　この活動に参加するようになって、今の中学生が自分で探究する行為自体に驚きを感じる。先生方の日常の指導は大変だろうといつも感じている。（新間CSディレクター）

→ 生徒は探究活動の中で「こうしたい」という思いはあっても「実現できそうにない」と思ってしまっているところがある。今日の活動で地域の方が「これならできるかも」と答えてくれるのはありがたい。生徒は達成感を感じていると思う。（森下教務主任）

・　参考になったことがいくつかあった。職員でも共有して今後の教育活動に取り入れられることを検討していきたい。（教頭）

（2）教職員の業務量管理について（教頭）

教頭より、別途資料に基づき説明、報告があった。

・　19ある見直し項目について、地域学校協働活動（今日の支援活動）の関係者間の連絡調整について、教員の負担が非常に大きい。来年度ご協力いただけるかどうか。（教頭）

→ 地域の人材を選定し事前に活動内容を説明、調整連絡等を協議会委員で分担して支援できそうか。（守下会長）

→ 観光協会など、自分に関係する方なら可能。人材が偏らないよう、重ならないように調整が必要。（笹野オブザーバー）

→ 今までの内容と流れを把握した上で、足りない分野の人材補充はできるのではないか。（奥山委員）

→ 来年度5月ごろの依頼として検討し協力しましょう。（守下会長）

13　報告（教頭）

○ 休日部活動の地域展開について進捗状況　報告

はまクル認定クラブについて、別紙資料に基づき教頭より説明があった。

14　連絡（教頭）

○ 運動場クリーンアップ作戦について

別紙資料に基づき教頭より説明があった。

○ 次回、学校運営協議会日程について

令和8年10月22日（木）　14:30～16:00（含授業参観）

令和８年度　第２学年　職場体験実施計画

浜松市立佐久間中学校

１　目的

① 職業体験の事前準備から当日の体験を通して、働くことへの興味・関心を高め、将来自分の就きたい職業や進路について考える。（かなえる力）

② 働くことの意義や尊さを考える。（ふかめる力）

２　実施日

令和８年５月２１日（木）、２２日（金）

３　体験事業所（６か所　天竜区内）

株式会社川坂モータース
遠鉄ストア天竜店
森のマルシェきころ
遠州菓子処むらせや
天竜 B&G 海洋センター
Toma ヘアサロン

４　宿泊先

浜松市天竜区二俣町二俣 1400-2　（TEL　925-2886）　三浦屋旅館

５　日程

《１日目》

８：００　通常登校
８：１０　学校出発（行事バス利用）
９：１０　川坂モータース
９：１５　遠鉄ストア
９：２０　森のマルシェきころ
９：３０　Toma ヘアサロン
９：４０　B&G 海洋センター
１５：００　職場体験終了（１泊）

【行事バスとは】
通学用スクールバスを天竜区内に限り利用できる。ただし、小学校の登下校に合わせる必要があり、時間的な制約がある。

《２日目》

９：００　職場体験２日目　開始
１２：００　職場体験２日目　終了　各集合場所へ移動（行事バス巡回）
１３：３０　昼食後二俣町出発（行事バス利用）
１４：３０　学校着

【教職員より】２年生職場体験について、改善点等

・今年度初めて二俣での体験だったが、非常に良かった。２日目は昼で活動が終わりなので、１日目の活動をもう１時間程度延ばしても良いかもしれない。お店で友達と昼ご飯を食べたり、自分で夕飯を購入したりという体験もなかなかできないので、有意義だった。
・佐久間から外へ出る活動は有意義だったと感じる。職場から旅館までの経路入り地図を一人ずつ作る必要があるのか、は疑問を感じる。地図を与えて、自分で戻ってくることの方が「生きる力」なのではないだろうか。

佐久間中学校　第２学年 学年通信 文責：藤田至真	２０２６年６月１日（月）　第３号 **つ な ぐ** ～仲間とつながり、未来へつなげる～ 

今年度が始まって２か月が過ぎ、１学期も折り返しの時期を迎えました。生徒たちは、生活にも少しずつ慣れ、学習や行事、係活動などに前向きに取り組んでいます。

〇働くことを学んだ２日間

５月２１日・２２日の２日間、２年生は職場体験学習を実施しました。今年度は二俣地域の事業所の皆様のご協力のもと、生徒たちは実際の仕事を体験し、働くことの大変さややりがい、人と関わることの大切さについて学ぶことができました。学校生活では気付かなかった「責任」や「相手を思いやる姿勢」の大切さを実感する貴重な機会になったと思います。以下に生徒の職場体験の感想を載せました。ぜひ読んでみてください。

＜職場体験生徒感想＞

「浜松市天竜Ｂ＆Ｇ海洋センター」

職場体験を通して学んだことは、２つあります。１つ目は、挨拶の大切さです。プールの監視業務の際、スタッフの方々は「こんにちは！」と元気に声をかけると同時に、利用者がプールに入る前にシャワーを浴びたか、アクセサリーを外しているか、などを瞬時に確認し、安全を確保しているのだと学びました。利用者に「ここへ来て良かったな」「この子の挨拶は気持ちがいいな」と思ってもらえるよう、周りの人を元気にするような笑顔の挨拶を心がけました。

２つ目は、働く中での喜びです。プール監視のあとに、様々な場所の清掃や確認を行いました。特にプールが見える大きな窓の掃除は大変でしたが、その後に始まったキッズスクールの保護者の方々がその窓の近くに来られた際、綺麗になった窓を見て「掃除をして本当に良かった」と嬉しくなりました。巡回や清掃を徹底することで、利用者が気持ちよく施設を使えるようになり、それが自分の喜びにもつながるのだと実感しました。

普段私たちが何気なく使っている施設は、陰できれいに掃除をしてくれているスタッフの方々のおかげで成り立っているのだと気づくことができました。体験の最後に、お客様から「とてもいい挨拶で、私も元気になったよ。職場体験も学校も頑張ってね」と声をかけていただきました。この言葉を励みに、これからも周りの人を元気にするために、私らしい挨拶を届けていきたいと思います。

「Tomaヘアサロン」

美容師さんの仕事が思っていたよりも多く、大変だということを知りました。朝は掃除や、道具の準備など、短い時間でやることがたくさんありました。

接客するときには、お客様を見てその人の気持ちを考え、合わせていると言っていました。接客でも心がけていることがたくさんあって、素敵だなと思いました。

ヘアアレンジやカットの体験では、人の髪をアイロンで巻いたり、髪の長さをそろえたり、コームやシザーを使ったりするのがとても難しかったです。この２日間では、美容師さんのすごさや大変さを知ることができました。

「森のマルシェきころ」

職場体験を通して学んだことは、お客様や地域の方々などお客様のことを思って行動することです。お客様のことをよく考えて行動に移すこと、地域の方の思いやりをしっかり受け取ること、お客様の視点に立って考えてみること、何事にも挑戦することが大切だと教えてもらいました。そのため職場体験では、お客様や地域の方との接し方、お客様がどんな思いで商品を買っているのかなどをしっかりと考え、観察することができました。これからは、今までの友達との接し方が良かったのかなど、少しでも第三者の視点で物事を捉えたいです。

「遠鉄ストア 天竜店」

職場体験を通して、飲料水やお菓子などの補充をするとき、店員さんたちが場所をしっかり覚えていて、僕は全く場所がわからなかったので、すごいと思いました。そして、飲料水などを運ぶときに、お客さんに当たらないように押すのではなく引いていたり、お寿司を作るときに、お客さんに少しでも取ってもらいたいから、寿司を並べるときの形など、見栄えを良くしたりしていて、そのようなプロ意識に驚きました。今後は、僕も見習いたいなと思いました。

「遠州菓子処 むらせや」

職場体験をして、来店されるお客様には元気な挨拶をすること、笑顔で接客をすることが大切だと知りました。また、工場でのお菓子作りでは、お菓子に触れる前に必ず消毒をすること、手を洗い、手袋をして、作ったり梱包したりすることがわかりました。

モナカを実際に作るときは、簡単だと思っていたけれど、雑に扱うと割れてしまうため、力加減を考えないといけないということが、自分でやってみてよくわかりました。また、お店の方にインタビューをしたところ、正確にやることや、材料の風味や特徴を引き出すことが大事だと言っていました。私はお菓子をよく作るので、このインタビューや工場でのお菓子作りで学んだことを、これからお菓子を作るときに活かしていきたいなと思いました。

「株式会社川坂モータース」

職場体験を通して、車の構造のことや、事故で凹んでしまったところの直し方、仕事をする上で気をつけなければいけないことなどを知ることができました。また、職場の人たちのお客様への思いや、お客様から預かっている車だからこそ、車一台一台の細かいところまで丁寧に見ている姿から、皆さんの責任感のすごさを感じました。学校生活でも、僕も意識していきたいと思いました。それだけでなく、実際に今回の体験を通して、仕事の大変さを体で感じることができ、いい経験になりました。








R8 社会体験活動（１年）　振り返り

：佐久間図書館



本の貸し出しだけじゃなく、開館前の掃除があることを知りました。掃除をする理由は「お客さんに快適に過ごしてほしいから」だそうです。大変さは、重いブックポストをしまうことで、やりがいは来てくれたお客さんと楽しく話すことやお客さんの読みたい本を見つけることだと思います。最初と最後のあいさつをしっかり言えたし、楽しかったことも忘れず伝えられました。

：社会福祉協議会



体験をしてみて、最初は不安だったけど社協の人たちがやさしくしてくれてうれしかったです。弁当作りも配達も楽しかったです。

：佐久間郵便局



郵便局で社会体験をして、業務が始まる前に社員の皆さん全員で経営理念を確認しているところから、本当にお客さんを大切にしているのを感じました。細かいところまで優しく教えてくれてとても楽しかった。

：佐久間支所



佐久間支所で町内有線放送の原稿づくりをしました。よく町内に流れる放送は、こうやって作られ、録音されて放送されることを知りました。しっかり伝わるように、短い言葉で分かりやすい言葉にすることがとても大切と知りました。支所ではほかにも保険証の作成をしていることも知りました。正確に伝えることの大切さ、皆さんに知ってもらうことのやりがいをとても感じました。こういう人の役に立つ仕事についてもいいな、と思いました。

【教職員より】１年生社会体験活動について、改善点等

・快く引き受けてくださり、非営利組織がどのようなものなのか、趣旨を理解して生徒に対応していただけた。郵便局は個人情報の塊なので、職務の性質上、体験活動という点ではほかの３カ所より少なく、消防署とどちらにするか検討する余地がある。（消防は緊急対応時には受け入れできない可能性もあり、避けている。）

6/9　地域学校協働活動（探究活動相談会）参加者の感想

交流会の流れ、質問の内容を事前に教えていただければ、もう少し機材を準備できました。
２人とも前向きな意欲の感じられる話が聞けました。A君の目標は、地域全体に関わる大きなもので、すぐ実現するかどうかは分からないものの、地道に地域の中でできることにつなげてくれればと思います。Bさんは色々なアドバイスを受けてやや戸惑ってしまったところもあったようですが、今日の話の中から自分の一番追究したいものを絞り込んでいければ充実した研究ができると思います。
生徒の探究心や行動力に大変感銘を受けました。また、参加する身として、生徒の考え方を尊重する助け舟を出してあげるべきかと感じました。良い意味での老婆心から、先人結果や経験上のやや否定的な意見が出てしまう中、もっと生徒の発想や考え方を尊重する姿勢が我々には必要であると感じます。
それぞれがそれぞれの視点で地域のことを考えてくれることがありがたいと思いました。地域の人とのかかわりながら、地域のことを考え、見通しをもって自分で進めていく良い学びが考えられていると感じます。発表会には多くの地域の人々が参加し、中学生の発表を聞いてもらいたいです。
テーマについて真剣に考えている様子を見て感動しました。話したことがよいまとめとなってくれると嬉しいです。
私自身も参加できて深く考えることができ、勉強できました。みなさんの発表が楽しみです。
いろいろな話ができて楽しかった。知らなこともたくさんあり勉強になりました。佐久間がもっと盛り上がっていくことを楽しみにしています。
毎年参加させていただいて生徒さんたちの意見を楽しく聞かせていただいています。参考になるかどうか定かではありませんが、生徒さんたちの３年間の思いが最終的に実になると良いと思って応援しています。
生徒たちの興味の多さに驚きました。自分たちにはない視点があり良かったです。
頑張っていることを応援したい。
地域を思う気持ちをもって探究していると感心しました。
自分にはないおもしろい発想があり、とても感心した。あらかじめ探究内容が分かれば、いろいろな資料が提供できる。
発表会までのスケジュールの作り方（マイルストーン方式など）は基礎知識としておいた方が良いかと思います。
みなさんとてもしっかりしていてすごいと思いました。生徒さんの取組を知ることができてとても良かったです。今、自分がやっていることとテーマが重なることも多く、とても良い経験になりました。
アドバイザーとして出席しましたが、花井さんの話がとても楽しく聞けました。

個別探究活動・終日ST

生徒訪問先とタクシー利用一覧

２，３年　生徒体験訪問先	訪問生徒	タクシー利用
辰美屋		
コープ		
いどばた		
図書館		
佐久間支所		
パンプキンレディース		○
フジモトさん		○
さくまの里		
大学堂		
おかめ		
やましろや		○
ハニーデップ		
佐久間ダム		○
まるふく		○
今泉さん		
校区内歴史散策（吉沢など）	１年生	○

（参考）

２，３年向け・学校来校者	生徒	来校
花井　孝之（静岡県　漁協）		８：30来校
川見　俊（カラマス）		13：30来校

１年：地域探究活動	活動先
8:50～ 9:20	佐久間神社、旧佐久間小跡　散策
9:40～10:00	北条峠　散策
10:30～12:30	佐久間ダム（昼食）
13:10～13:40	旧吉沢小学校
14:10～15:00	尾上榮三郎塚、浦川歌舞伎発祥の地

※４～８月まで、小学校の体験も踏まえ、一人１テーマで調べ学習とプレゼンづくり。当日は、それらを紹介しつつ見学をした。

Ｒ８年度　コーディネーター（ＣＤ）活動報告　　※下線部

１．佐久間地域での１年・社会体験活動(新行事)先への連絡調整

① ２年・職場体験を二俣地区へ変更したことに伴う、１年・社会体験活動先の選定
図書館、支所、社会福祉協議会、郵便局（非営利団体：今後もこの４カ所）

② 体験先への事前連絡と受け入れ打診

③ 生徒の希望調査と割り振り

２．ＣＳだより（地域クラブだより）の地域掲示

① 掲示場所の選定　：各ふれあいセンターほか計１０カ所

② 発行後の掲示依頼：分担して毎月掲示巡回（９月末で毎月の定期掲示は終了）

３．家庭科ボランティアの募集

① ボランティア必要日の設定：　家庭科教員から希望日集約（裁縫４回、調理４回）

② 保護者からの参加者募集　：　学校からさくら連絡網でアンケート

③ ＣＤから個別に依頼　　：　ボランティア人員が不足している日

※各回２～３人のボランティア確保

（今後の活動予定）

４．あいさつ標語のぼり旗（健全育成会）の地域掲示

① 人が集まる場所（昨年度、選定済み）に掲示依頼の訪問
佐久間・半場(3)、中部(2)、山香(5)、浦川(6)、城西(3)　計 19 カ所へ 30 枚

② のぼり完成後、掲示依頼

５．オリジナル弁当の販売

① 生徒によるメニュー考案　：　家庭科の授業にて

② 販売店で実現可能か検討

③ 販売日の設定、調整

④ チラシ作成、配布

６．ふれあいセンターまつりでの生徒作品の展示

① 実施日の確認

② 出品申込書の作成、提出

③ 当日の作品搬入と撤収

【課題】
◎アナログな活動がどうしても必要　　× メール、ホームページが苦手
★プリントで配布する、掲示して「見てもらう」しかできない（学校）
★デジタルで発信できないこともある。
・不特定多数の人に見られてしまう。（地域の方だけに見てほしいのに、、、）
・ＡＩが自動で悪事を働かせることが可能。（ＱＲコードのアンケート）

学校と教師の業務の３分類

学校以外が担うべき業務		現状	備考	今後の対応（案）
1	登下校時の通学路における日常的な見守り活動等	○	実施していない	―
2	放課後から夜間などにおける校外の見回り、児童生徒が補導された時の対応	○	実施していない	―
3	学校徴収金の徴収・管理（公会計化等）	○	浜松市が一括対応	―
4	**地域学校協働活動の関係者間の連絡調整等**	**▲**	**職場体験、作品展示、オリジナル弁当などは対応済み。６月の協働活動準備の連絡調整は教員。**	**６月の協働活動準備で協力いただけるか。**
5	保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応	○	事案がない	―
※朝の時間帯や下校時間の後に、学校施設で預かり活動を行う必要がある場合は、学校以外の管理体制を構築		○	実施していない	―
教師以外が積極的に参画すべき業務				
6	調査・統計等への回答｜学校への依頼を減らし、デジタル技術を活用しつつ、事務職員を中心に実施	▲	事務職員も対応しているが、調査が非常に多い	学校職員で対応
7	学校の広報資料・ウェブサイトの作成・管理｜学校が行う場合は事務職員等が積極的に参画	×	学校だより、ホームページなど個人情報管理などを含め、学校職員以外での対応は困難	学校職員で対応
8	ICT機器・ネットワーク設備の日常的な保守・管理｜教育委員会と連携を図りながら、事務職員等を中心に実施しつつ、地域の実情に応じて外部委託も積極的に検討	○	民間業者への業務委託により、施設点検を除き遠隔操作で対応	―
9	学校プールや体育館等の施設・設備の管理｜教師は授業等に付随して行う日常点検を担い、外部委託等も積極的に検討	×	分校施設のため	―
10	校舎の開錠・施錠｜副校長・教頭に固定せず、機械警備、役割分担の見直し等を促進	×	分校施設のため	―
11	児童生徒の休み時間における安全への配慮｜地域住民等の支援や、輪番等を促進	×		必要を感じない
12	校内清掃｜児童生徒への清掃指導は、地域住民等の支援を得て、回数・範囲の合理化等を促進	×		週２回の朝清掃で、職員が対応できる
13	部活動｜部活動の地域展開・地域連携を推進	▲	休日は９月から移行。平日は部活動。	今後、平日も学校外活動になるか
教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務				
14	給食の時間における対応｜食に関する指導については、栄養教諭等が対応	▲	栄養教諭不在。負担は比較的大きい。	給食準備は学校職員で対応可能。食事指導は家庭か。
15	授業準備｜教材の印刷など補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを実施、デジタル技術の活用を促進	×	コロナ後、支援スタッフ制度廃止。新しい指導技術習得に時間が必要。	教員の本務 ※ここに時間が必要
16	学習評価や成績処理｜採点作業等のうち補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを中心に実施、自動採点等のデジタル技術の活用を促進	▲	生徒数が少なく教員で対応は可能。	必要を感じない
17	学校行事の準備・運営｜関係機関との日程調整や物品の準備等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進しつつ、必要に応じて外部委託等も検討	▲	分校、小学校、水窪中との調整が必要。外部人材との連絡調整も時間が必要。	調整を必要としない協力の在り方の検討が必要
18	進路指導の準備｜就職先に関する情報収集等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進	▲	生徒数が少なく教員で対応は可能。	必要を感じない
19	支援が必要な児童生徒・家庭への対応｜専門スタッフとの協働等を促進	▲	家庭との連絡に割かれる時間が多い。連絡がつく時間帯も課題。	課題だが、負担軽減のすべがない

R9 年度　業務量管理　改善への提案

R8.10.22

内容　　地域学校協働活動、終日 ST に協力いただく可能性がある方へ事前説明する。

概要　　６月の地域学校協働活動（個別テーマへの相談会）と終日 ST に向けた、相談・体験先としての**受入事前相談。活動の目的と実施日の伝達、協力依頼。**

流れ（案）

① ２月上旬　　次年度の地域学校協働活動と終日 ST の日程決定
学校から支援 CD へ、候補先リストと依頼文の提示
支援 CD で巡回リスト作成

② ２月中旬　　支援 CD が巡回しきれない相手先を他委員で分担
（第４回 学校運営協議会で可能か）

＝＝＝＝＝　２月中旬～３月末で、各委員による巡回　＝＝＝＝＝

③ ２～３月末　候補先への巡回説明完了

④ ４月　　新学年で個別探究テーマの設定

⑤ ５月 GW 明　個別テーマ確定　→ 担当教員が相談相手とマッチング

⑥ ５月下旬　　生徒が候補先へアポ取り　→開催・案内通知を郵送（巡回？）
候補先で対象にならなかった先へ断り通知を郵送（巡回？）

⑦ ６月上旬　　**地域学校協働活動（個別テーマ相談会）**

⑧ ６～７月　　生徒が、９月の終日 ST で訪問する相手へアポ取り
→案内通知を郵送

⑨ ９月中旬　　**終日 ST で訪問**

部活動の地域展開　試行から１年の経緯【報告】

R8.10.22

１．運営組織

【試行期間 R7.9～R8.7】　　【完全実施　R8.9～　】

佐久間地区 地域クラブ　　佐久間地域クラブ（浜松市認定 はまクル）

役職	氏名
会長	
副会長	
役員	
役員	
役員 （４～８月）	
役員 （９～３月）	
会計事務局	
監査	
顧問	

役職	氏名	肩書	備考
代表		PTA会長	
副代表 監査		PTA学年委員 （2年保護者）	3月の会計監査を実施し、 次年度の総会で報告
役員		弓道代表	
役員		陸上代表	
会計 事務局		テニス代表	
監査		教頭	
顧問		前CS会長	クラブ立ち上げ試行期間会長
顧問		現CS会長	
顧問		校長	

２．指導者と会員

	指導者	生徒(1,2年)	(3年)	備考
ソフト テニス		4	0	サポーター1名 水窪中1名
	指導者	生徒(1,2年)	(3年)	備考
陸上		2	1	
	指導者	生徒(1,2年)	(3年)	備考
弓道		4	2	

３．運営資金（週 2 回程度、年間 20 回実施可能）

・会費（半年：佐久間中学生￥2,000、隣接会員：￥6,000）

・佐久間中学校区健全育成会より支援金：「地域の文化・スポーツ活動」として

・中部公益会より支援金：「地域活性化活動」として

試行期間中、運営協議会を母体とする運営組織立ち上げにご協力いただき、ありがとうございました。今後、体制が変わる場合、相談させていただきます。